

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	つくば国際ペット専門学校
設置者名	学校法人つくば文化学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	ペットビジネス学科 ドッグトリマーコース	夜・通信	1,632	160	
	ペットビジネス学科 ドッグトレーナーコース	夜・通信	1,632	160	
	ペットビジネス学科 動物看護福祉コース	夜・通信	1,853	160	
	ペットビジネス学科 愛玩動物看護師コース	夜・通信	2,629	240	
	ペットビジネス学科 ペットケア総合コース	夜・通信	1,632	160	
(備考) 令和2年度の学生募集より「ペットビジネス学科動物看護福祉コース」は「動物看護福祉コース」と「愛玩動物看護師コース」に変更し、「動物看護福祉コース」は1・2年生が在籍					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ (http://www.tip.av.jp/school/disclosure/)
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	つくば国際ペット専門学校
設置者名	学校法人つくば文化学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ (http://www.tip.ac.jp/school/disclosure/)
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(株)東進社つくば 代表取締役	平成18年3月15日～令和4年3月14日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	(株)つくばグランドホテル 社員	平成18年3月15日～令和4年3月14日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	(一社)全日本愛犬技術 者指導協会 代表理事	平成18年3月15日～令和4年3月14日	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	つくば国際ペット専門学校
設置者名	学校法人つくば文化学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスの作成過程、および時期 毎年6月 各学科コース カリキュラム編成の内容を確認 毎年7月 各学科コース 担当講師において授業計画(シラバス)作成 毎年8月 授業計画(シラバス)決定 ・シラバスの公表時期 毎年9月 <p>取組の概要 授業科目の成績評価は、各学期末ごとに試験を行う。ただし出席4/5に達しない場合、その学科の評価を受けることができない。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ホームページ (https://www.tip.ac.jp/school/disclosure/) で公開する。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各学期末に行う試験、実技試験、実習の成果、授業態度、出席時数等を総合的に勘案して成績評価を行う。成績評価は「AA」「A」「B」「C」「D」の5段階とし、「C」以上の評価をもって単位習得とする。</p> <p>ただし、出席時数が授業時数の4/5の満たないものはその科目について評価を受けることはできない。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPA 制度 授業科目ごとに5段階で評価された成績を段階ごとにグレードポイントを付与します。修得した授業科目の単位数に、成績に応じたグレードポイントを乗じ、その合計を履修登録単位数の合計で除して算出する。</p> <p>成績評価各段階のグレードポイント 「AA」… 4.0 「A」… 3.0 「B」… 2.0 「C」… 1.0 「D」… 0.0</p> <p>成績下位 1/4 の生徒の再指導に役立てる。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ (https://www.tip.ac.jp/school/disclosure/) で公開する。
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定方針の策定について、本校で学ぶにあたって、一社会人としてマナーや心構えを身に付けるほか、動物分野のプロフェッショナルとして豊富で多彩な知識を習得する。また、実践的な環境を生かした実習を通して、確実な技術を身に付けたトリマー・トレーナー・動物看護師・ペットケアアドバイザーを育成することを目的とする。</p> <p>卒業の認定要件としては、履修する全科目の単位の修得、指定の学科における所定の技能検定試験の合格、実習の成果、履修状況を総合的に評価認定する。また履修期間の4/5以上の出席日数を満たしており、学費等の費用を期日までに全納すること。それを以て、進級・卒業認定とする。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ (https://www.tip.ac.jp/school/disclosure/) で公開する。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	つくば国際ペット専門学校
設置者名	学校法人つくば文化学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.tip.ac.jp/school/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://www.tip.ac.jp/school/disclosure/
財産目録	https://www.tip.ac.jp/school/disclosure/
事業報告書	https://www.tip.ac.jp/school/disclosure/
監事による監査報告（書）	学校事務局に備え付け・必要に応じてコピーを配布、閲覧

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養		文化・教養 専門課程	ペットビジネス学科 ドッグトリマーコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	1,700 単位時間/単位	884 単位時間 /単位		816 単位時間 /単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人		95人	0人	2人	3人	5人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 講義と実習を中心としたカリキュラムを編成。17科目 1,700単位時間のシラバスを作成しホームページにて公表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> シラバスの作成過程、及び時期 毎年6月 各学科コース カリキュラム編成の内容を確認 毎年7月 各学科コース 担当講師において授業計画（シラバス）作成 毎年8月 授業計画（シラバス）決定 シラバスの公表時期 毎年9月
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 各学期末に行う試験、実技試験、実習の成果、授業態度、出席時数等を総合的に勘案して成績評価を行う。成績評価は「AA」「A」「B」「C」「D」の5段階とし、「C」以上の評価を以て単位修得とする。</p> <p>GPA 制度</p>

<p>授業科目ごとに5段階で評価された成績を段階ごとにグレードポイントを付与します。修得した授業科目の単位数に、成績に応じたグレードポイントを乗じ、その合計を履修登録単位数の合計で除して算出する。</p> <p>成績評価各段階のグレードポイント 「AA」… 4.0 「A」… 3.0 「B」… 2.0 「C」… 1.0 「D」… 0.0</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 卒業の認定要件としては、履修する全科目の単位の修得、指定の学科における所定の技能検定試験の合格、実習の成果、履修状況を総合的に評価認定する。また履修期間の4/5以上の出席日数を満たしており、学費等の費用を期日までに全納すること。それを以て、進級・卒業認定とする。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) 定期的に、また必要とする際には個別面談を実施し、状況により保護者面談、または三者面談を行う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	0人 (0%)	33人 (94.3%)	3人 (5.7%)
(主な就職、業界等) トリミングサロン、ペットショップ、動物病院他			
(就職指導内容) 就職ガイダンス、企業説明会、個別相談他			
(主な学修成果(資格・検定等)) (一社)全日本愛犬技術者指導協会トリマー1級、(一社)ジャパンケネルクラブトリマーC級、愛玩動物飼養管理士、ビジネス能力検定の受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
84人	5人	6.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談の実施、保護者面談の実施、校内行事の定期開催		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	ペットビジネス学科 ドッグトレーナーコース	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼間	1,700 単位時間/単位	918 単位時間 /単位		782 単位時間 /単位	
			単位時間/単位			単位時間/単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80人		90人	1人	3人	1人	4人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>講義と実習を中心としたカリキュラムを編成。24科目 1,700 単位時間のシラバスを作成しホームページにて公表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> シラバスの作成過程、及び時期 <ul style="list-style-type: none"> 毎年 6 月 各学科コース カリキュラム編成の内容を確認 毎年 7 月 各学科コース 担当講師において授業計画 (シラバス) 作成 毎年 8 月 授業計画 (シラバス) 決定 シラバスの公表時期 <ul style="list-style-type: none"> 毎年 9 月
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>各学期末に行う試験、実技試験、実習の成果、授業態度、出席時数等を総合的に勘案して成績評価を行う。成績評価は「AA」「A」「B」「C」「D」の 5 段階とし、「C」以上の評価を以て単位修得とする。</p> <p>GPA 制度</p> <p>授業科目ごとに 5 段階で評価された成績を段階ごとにグレードポイントを付与します。修得した授業科目の単位数に、成績に応じたグレードポイントを乗じ、その合計を履修登録単位数の合計で除して算出する。</p> <p>成績評価各段階のグレードポイント 「AA」… 4.0 「A」… 3.0 「B」… 2.0 「C」… 1.0 「D」… 0.0</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業の認定要件としては、履修する全科目の単位の修得、指定の学科における所定の技能検定試験の合格、実習の成果、履修状況を総合的に評価認定する。また履修期間の 4/5 以上の出席日数を満たしており、学費等の費用を期日までに全納すること。それを以て、進級・卒業認定とする。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>定期的に、また必要とする際には個別面談を実施し、状況により保護者面談、または三者面談を行う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
39人 (100%)	0人 (0%)	34人 (87.2%)	5人 (12.8%)
（主な就職、業界等） 訓練所、ペットショップ、動物病院、愛犬同伴宿泊施設他			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、企業説明会、個別相談他			
（主な学修成果（資格・検定等） （一社）全日本愛犬技術者指導協会ホームドッグトレーナー1級、トリマー3級、 愛玩動物飼養管理士、ビジネス能力検定の受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
92 人	6 人	6.5 %
（中途退学の主な理由） 学業不振、進路変更、学習意欲喪失、自己都合		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談の実施、保護者面談の実施、校内行事の定期開催		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養 専門課程	ペットビジネス学科 動物看護福祉コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,312 単位時間／単位	1,122 単位時間 ／単位		1,190 単位時間 ／単位		
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	36人	0人	4人	3人	7人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 講義と実習を中心としたカリキュラムを編成。29科目 2,400 単位時間のシラバスを作成しホームページにて公表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> シラバスの作成過程、及び時期 毎年 6 月 各学科コース カリキュラム編成の内容を確認 毎年 7 月 各学科コース 担当講師において授業計画（シラバス）作成 毎年 8 月 授業計画（シラバス）決定 シラバスの公表時期 毎年 9 月
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 各学期末に行う試験、実技試験、実習の成果、授業態度、出席時数等を総合的に勘案して成績評価を行う。成績評価は「AA」「A」「B」「C」「D」の5段階とし、「C」以上の評価を以て単位修得とする。</p> <p>GPA 制度 授業科目ごとに5段階で評価された成績を段階ごとにグレードポイントを付与します。修得した授業科目の単位数に、成績に応じたグレードポイントを乗じ、その合計を履修登録単位数の合計で除して算出する。</p> <p>成績評価各段階のグレードポイント 「AA」… 4.0 「A」… 3.0 「B」… 2.0 「C」… 1.0 「D」… 0.0</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 卒業の認定要件としては、履修する全科目の単位の修得、指定の学科における所定の技能検定試験の合格、実習の成果、履修状況を総合的に評価認定する。また履修期間の4/5以上の出席日数を満たしており、学費等の費用を期日までに全納すること。それを以て、進級・卒業認定とする。</p>
学修支援等
<p>（概要） 定期的に、また必要とする際には個別面談を実施し、状況により保護者面談、または三者面談を行う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33人 (100%)	0人 (0%)	27人 (81.8%)	6人 (18.2%)
（主な就職、業界等） 動物病院、動物保護施設、ペットショップ他			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、企業説明会、個別相談他			
（主な学修成果（資格・検定等） （一社）全日本愛犬技術者指導協会小動物衛生看護師1級、トリマー3級、認定動物看護師、愛玩動物飼養管理士、ビジネス能力検定の受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
74人	7人	9.5%
（中途退学の主な理由） 学習意欲喪失、体調不良、学校生活不応		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談の実施、保護者面談の実施、校内行事の定期開催		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養 専門課程	ペットビジネス学科 愛玩動物看護師コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3,088 単位時間／単位	1,122 単位時間 ／単位		1,966 単位時間 ／単位		
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	44人	0人	4人	3人	7人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 講義と実習を中心としたカリキュラムを編成。36科目 3,088 単位時間のシラバスを作成しホームページにて公表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> シラバスの作成過程、及び時期 毎年 6 月 各学科コース カリキュラム編成の内容を確認 毎年 7 月 各学科コース 担当講師において授業計画（シラバス）作成 毎年 8 月 授業計画（シラバス）決定 シラバスの公表時期 毎年 9 月
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 各学期末に行う試験、実技試験、実習の成果、授業態度、出席時数等を総合的に勘案して成績評価を行う。成績評価は「AA」「A」「B」「C」「D」の 5 段階とし、「C」以上の評価を以て単位修得とする。</p> <p>GPA 制度 授業科目ごとに 5 段階で評価された成績を段階ごとにグレードポイントを付与します。修得した授業科目の単位数に、成績に応じたグレードポイントを乗じ、その合計を履修登録単位数の合計で除して算出する。</p> <p>成績評価各段階のグレードポイント 「AA」… 4.0 「A」… 3.0 「B」… 2.0 「C」… 1.0 「D」… 0.0</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 卒業の認定要件としては、履修する全科目の単位の修得、指定の学科における所定の技能検定試験の合格、実習の成果、履修状況を総合的に評価認定する。また履修期間の 4/5 以上の出席日数を満たしており、学費等の費用を期日までに全納すること。それを以て、進級・卒業認定とする。</p>
学修支援等
<p>（概要） 定期的に、また必要とする際には個別面談を実施し、状況により保護者面談、または三者面談を行う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) 令和2年度の学生募集により、「動物看護福祉コース」より分離し、現在は1年生が在籍。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養 専門課程	ペットビジネス学科 ペットケア総合コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,700 単位時間/単位	952 単位時間 /単位		748 単位時間 /単位		
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	66人	0人	2人	2人	4人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 講義と実習を中心としたカリキュラムを編成。27科目 1,700 単位時間のシラバスを作成しホームページにて公表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> シラバスの作成過程、及び時期 毎年 6 月 各学科コース カリキュラム編成の内容を確認 毎年 7 月 各学科コース 担当講師において授業計画（シラバス）作成 毎年 8 月 授業計画（シラバス）決定 シラバスの公表時期 毎年 9 月
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 各学期末に行う試験、実技試験、実習の成果、授業態度、出席時数等を総合的に勘案して成績評価を行う。成績評価は「AA」「A」「B」「C」「D」の 5 段階とし、「C」以上の評価を以て単位修得とする。</p> <p>GPA 制度 授業科目ごとに 5 段階で評価された成績を段階ごとにグレードポイントを付与します。修得した授業科目の単位数に、成績に応じたグレードポイントを乗じ、その合計を履修登録単位数の合計で除して算出する。</p> <p>成績評価各段階のグレードポイント 「AA」… 4.0 「A」… 3.0 「B」… 2.0 「C」… 1.0 「D」… 0.0</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 卒業の認定要件としては、履修する全科目の単位の修得、指定の学科における所定の技能検定試験の合格、実習の成果、履修状況を総合的に評価認定する。また履修期間の 4/5 以上の出席日数を満たしており、学費等の費用を期日までに全納すること。それを以て、進級・卒業認定とする。</p>
学修支援等
<p>（概要） 定期的に、また必要とする際には個別面談を実施し、状況により保護者面談、または三者面談を行う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
35人 (100%)	0人 (0%)	28人 (80%)	7人 (20%)
（主な就職、業界等） ペットショップ、動物病院、動物保護施設、愛犬同伴宿泊施設他			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、企業説明会、個別相談他			
（主な学修成果（資格・検定等） （一社）全日本愛犬技術者指導協会ペットケアマネージャー1級、ホームドッグトレーナー3級、トリマー3級、愛玩動物飼養管理士、ビジネス能力検定の受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
72 人	3 人	4.2 %
（中途退学の主な理由） 学校生活不適應、学習意欲低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談の実施、保護者面談の実施、校内行事の定期開催		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ペットビジネス学科	200,000	696,000	336,000	実習費、施設管理費、飼育管理費
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ (https://www.tip.ac.jp/school/disclosure/) で公開する。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価は、自らの教育活動と学校運営について、社会や業界のニーズに合致した目標設定であるか、またその取り組みが適正であるかを判断し、その評価と公表により組織的、継続的な改善を図るものである。企業、業界団体、卒業生など学校に関係する人達がそれぞれの視点で学生の事を考え、意見を出し合い、より良い学校づくりに寄与するものである。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人全日本愛犬技術者指導協会 代表理事	平成30年10月1日～ 令和3年9月30日	業界団体関係者
つくばわんわんランド 園長	平成30年10月1日～ 令和3年9月30日	企業関係者
卒業生代表	平成30年10月1日～ 令和3年9月30日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ (https://www.tip.ac.jp/school/disclosure/) で公開する。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ (https://www.tip.ac.jp/school/disclosure/) で公開する。
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	つくば国際ペット専門学校
設置者名	学校法人つくば文化学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		27人	15人	34人
内 訳	第Ⅰ区分	16人	15人	
	第Ⅱ区分	11人	一人	
	第Ⅲ区分	一人	一人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				34人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	一人
3月以上の停学	0人
年間計	一人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。